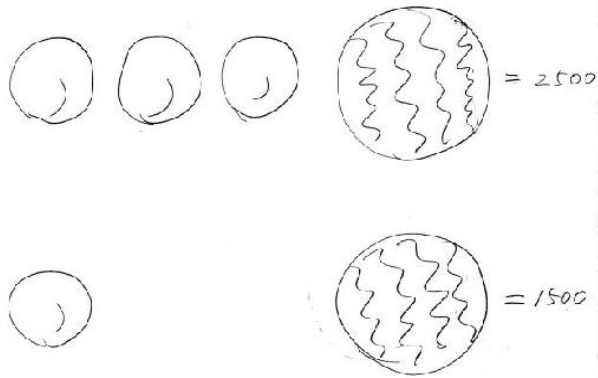


P 3 8 2 連立方程式の解き方

□加減法

ひろげよう 「ひろげようを読んでください」  
 「夏の果物？」（話がひろがるとよい・・・）  
 「ももとすいかということにしましょう」



中学校ではもも1個をx円、すいか1個をy円とします。

$$\begin{cases} 3x + y = 2500 \cdots \cdots \text{①} \\ x + y = 1500 \cdots \cdots \text{②} \end{cases}$$

「等しいものから等しいものをひいた残りは等しい」

①-②

$$\begin{array}{r} 3x + y = 2500 \\ -) \quad x + y = 1500 \\ \hline 2x = 1000 \end{array} \quad \text{両辺を2でわると } x = 500$$

②に代入すると  $500 + y = 1500$   $y = 1000$

$(x, y) = (500, 1000)$

途中でyのないxだけの方程式になりました。

文字yが消えることを、yを**消去**する といいます。

問1 「一緒にやりましょう」

$$(1) \quad \begin{array}{r} \left\{ \begin{array}{l} x + y = 5 \\ x - 3y = -3 \end{array} \right. \\ \hline 4y = 8 \\ y = 2 \\ x + 2 = 5 \\ x = 3 \\ (x, y) = (3, 2) \end{array}$$

$$(2) \quad \begin{array}{r} \left\{ \begin{array}{l} 2x - y = -1 \\ 4x - y = -3 \end{array} \right. \\ \hline -2x = 2 \\ x = -1 \\ -2 - y = -1 \\ -y = 1 \\ y = -1 \\ (x, y) = (-1, -1) \end{array}$$

例1 「例1を問題の式だけ読んでください」

$$\begin{cases} 2x + y = 7 & \dots\dots\dots ① \\ 5x - y = 14 & \dots\dots\dots ② \end{cases}$$

ひいてもうまくいきません

「ひいてもだめなら、たしてみな」

$$+ ) \begin{array}{r} \left\{ \begin{array}{l} 2x + y = 7 & \dots\dots\dots ① \\ 5x - y = 14 & \dots\dots\dots ② \end{array} \right. \\ \hline 7x = 21 \\ x = 3 \end{array}$$

$$①に代入 \quad 6 + y = 7$$

$$y = 1$$

$$(x, y) = (3, 1)$$

ひいてもダメなら

たしてみな！

このように左辺どおし、右辺どおしを たすかひくかして  
一つの文字を消去して解く方法を **加減法** と言います。

問2 「やってみましょう」